

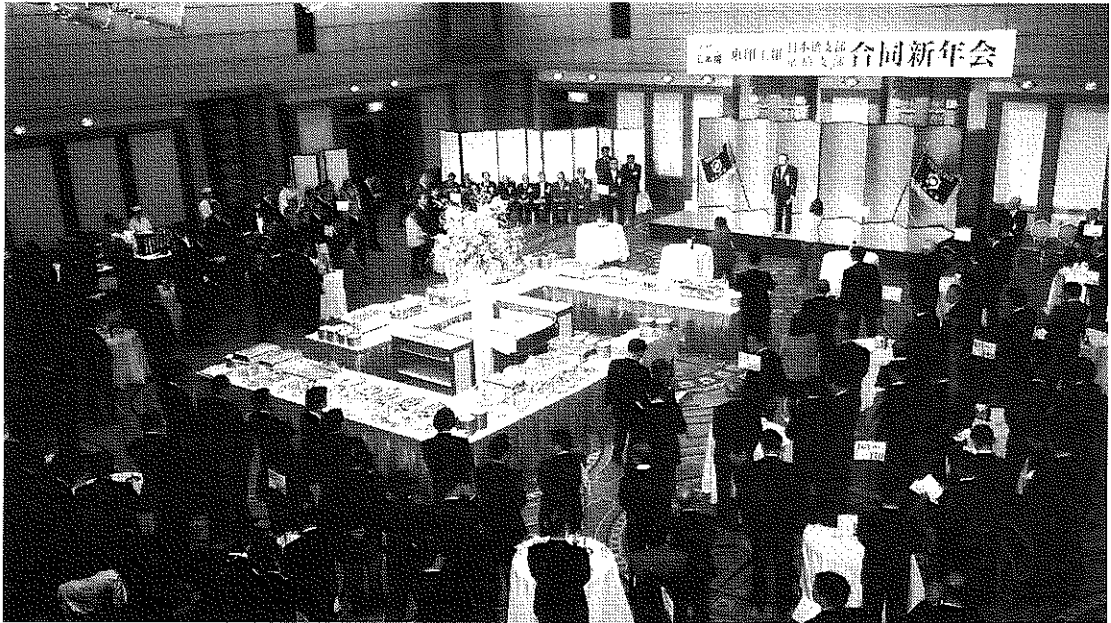
京橋の印刷

2月20日2001・No.107

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-9
京華スクエア2F 電話 3552-1855
FAX 3297-3790

<http://www.kyobashi-shibu.org>

発行人 松川 昭義



JOINT 京橋 2001 日本

新世紀・2001年

副支部長 宇野 一男

明けまして おめでとうございます

京橋支部組合員の皆様には、ご機嫌よくそして感慨を新たにされて二一世紀最初の年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

子供の頃、二一世紀はずっと遠い未来のことと思っていました。が、いよいよ新世紀の幕が開き100年に一度の瞬間を体験したわけですが、世紀が改まったからと言って私達の暮らしは急に変わりませんが、これを節目と考えていろいろと思いを新たにしたい機会かもしれません。

二〇世紀を振り返って見ますと、一九〇一年(明治三四年)からの100年は、明治・大正・昭和・平成と四つの年号を経て中頃の第二次世界大戦を期に前半から後半へ大きく変化いたし、今日まで物質文明の発展は凄まじい勢いで、ジャンボジェット機は世界を飛び回り、新幹線は三〇〇kmで走り、高速道路はトラックで大渋滞となり、この100年で生活のリズムはたいへんな速さで推移するようになり、物は溢れ便利な時代になりましたが、その反面、地球環境の破壊も著しいものがあります。

二一世紀はエネルギーデモクラシーに積極的に対応し、緑と水のきれいな地球を取り戻すためには、高度成長の二〇世紀の何倍もの努力が必要だそうです。

印刷業界も、活版・オフセットの全盛期の二〇世紀よりコンピュータ中心の二一世紀へ大きく変化と進化をして行くものと想像されますが、未知なる二一世紀を京橋支部の皆様と共に、英知と勇気を持って突き進んで行きたいと思っております。

京橋支部
日本橋支部

合同新年会

一月十九日(金) 於・帝国ホテル

一月十九日(金)、午後六時より帝国ホテル・孔雀西の間に於て「ジョイント二〇〇一」京橋・日本橋支部合同新年会が開催されました。今回は画期的な試みとして京橋、日本橋両支部の合同新年会と云うことになりました。来賓としては、矢田中央区長、立石東京都議会議員、高橋中央区議会議長、坂戸区民福祉保健委員会委員長、茂木助役、森中区民部長、斎藤商工課長、小薬工団連会長、田島厚生年金基金理事長、長山中央厚生事業協同組合理事長、丸山製本組合日本橋支部長、油矢京橋支部長と、計十二名の御出席を賜りました。又関連業界からは、六十二社、九十九人の方々が出席して下さいました。そして組合員は両支部合わせて一七〇名が集い、総数として二八五名となりとても賑やかな新年会となりました。

定刻通りに開会となり、日本橋の小粥副支部長、京橋の松岡副支部長が司会の席について新年会は進行してゆきました。まず初めに、京橋支部の宇野副支部長が開会の言葉をのべ、次に松川京橋支部長、窪田日本橋支部長が年頭の挨拶をのべました。(後掲)

次に、来賓祝辞に移り、矢田中央区長、立石都議、高橋区議会議長と続き、最後に関連業界を代表して、社団法人日本印刷産業機械工業会会長としても活躍されている株式会社小森コー

ポレーション代表取締役社長小森善治様よりご挨拶をいただきました。(後掲)

一連のセレモニーは順調に約三十分程で終了し、次に祝賀会に入った。初めにご出席をいただいた来賓の方々の紹介があり、東京印刷工業厚生年金基金理事長、田島一弥様よりご挨拶のあと、乾杯の音頭をとっていただき一同これに和して乾杯をしました。

今日の新年会では、各々入場の際に、福引券が受付より渡され、その半券を福引箱に投げ入れて会場に入っております。

宴半ば、日本橋支部の方々の主導で、福引大会が賑やかに始められました。その参加された青年部の皆さんが推進役となりそしてミス中央の美女三名がこれに加わり福引の抽選が楽しく進められました。一等、生タラバガ二等の賞品が準備されており、出席者一同固唾をのんで当せん番号の発表をみまもっており、時のたつのも忘れる程の興味しんしんのひと時を過しました。

七時五十分頃予定の行事は終了し、中締めとして齋木日本橋副支部長が挨拶され滞りなく合同新年会を終りました。

当日の主な登壇者の皆さんのご挨拶の内容を次ぎに記載致します。



京橋支部長

松川 昭義

みなさん、明けましておめでとうございます。本日は、ジョイント2001と銘打ちまして、日本橋・京橋両支部合同の新年会を催しましたところ、矢田区長様はじめ多数のご来賓のみなさま方のご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、関連業界のみなさま方には、この厳しい経済状況の下に多数ご協力をいただきましたこと、本当にありがとうございます。両支部の企業におかれましては、合同の新年会ということで、大変お骨折りをいただきました。お陰様で両支部合わせて一七〇名という大勢の組合員の出席をいただきました。本当にありがとうございます。

この新年会を迎えるにあたり、両支部より実行委員のみなさま方を選出していただきました。両実行委員の方は何度となく会議を重ねて、本日の会合となりました。それぞれの支部が長い伝統と歴史、慣習を持っている中で、両支部をまとめていただいた実行委員の方々のご苦勞に改めて感謝を申し上げます。

二一世紀を迎え、本日ご出席のみなさま方とともに手を携え、業界の発展に向けて智慧を出し合って協力していきたいと考えています。初めての合同新年会ということで、不行き届きが多々あるかと存じますが、何卒お許しを願いたいと存じます。おいしい料理を召し上がりながら、ご歓談いただければ幸いです。本日はどうもありがとうございました。



日本橋支部長
窪田 秀亮

改めまして、みなさま新年明けましておめでとうございます。ただ今松川支部長よりご挨拶のとおり、本年は趣向を変えまして、京橋・日本橋と合同で新年会の開催でございます。このようにたくさんの方々へ出席をいただきまして大変ありがとうございます。昨年の夏頃、松川支部長と「来年、新世紀二〇〇一年、二一世紀の新年会は業界に新風を吹き込むような新しいかたちでの新年会を合同でやりたいね」という話がきっかけになりました、このような素晴らしい会場でご来賓の方々多数、関連業界の方々多数、そして京橋支部、日本橋支部の組合員の方々、総勢二九〇名に近い方々のご出席を頂戴しまして、このような盛大な新年会が開催できまして、大変感謝申し上げる次第でございます。

ます。今日はそういう意味で、先ほど司会のほうからもご案内のとおり、お席のほうはランダムに用意させていただいています。これは、今回の趣旨に則りまして、ぜひこの会場のみなさま方、情報交換、名刺交換に花を咲かせていただきますまして、今回の二〇〇一年の一步としてぜひこの会場を大いに利用していただき、業界活性化の場としたいと思っています。どうぞ、そういった意味での席割りですので、活発な情報交換をよろしくお願いしたいと思います。

さて、私どもの業界がここ数年来、大変厳しい状況でございます。しかし先ほど入場の時にみなさまのお手元に配られましたパンフレットのとおり立派な中央区立ハイテクセンターが二月一日にオープンいたします。これも我々の情報交換、異業種の交流、情報技術の習得の場として、大変期待の多い施設です。区としても地域産業の振興のための施設として、大変力を入れてきた建物です。我々業界にとっては、大変意義のある活用となるはずですが、また、東京都印刷工業組合本部の推進しているところの二〇〇五年計画が昨年度より推進されておりますが、本年はこれも具体化のかたちで展開され、我々業界にとっては見通しの明るい二〇〇一年になるのではないかと大変期待しているところでございます。どうぞ、今日のこの席にご臨席のご来賓の方々、関連業界の方々、組合員の方々、ぜひこの二〇〇一年を素晴らしい年にすべく協力してやっていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。最後に

なりましたが、ご臨席のみなさま方の企業の発展とご健勝を祈念しましてご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。





中央区区長

矢田 美英

ご紹介いただきました中央区区長の矢田美英でございます。東京都印刷工業組合日本橋・京橋両支部のみなさま方には、21世紀最初の輝かしい新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。そして、今日はその21世紀の幕開けに相応しく、両支部初めて合同の新年会『ジョイント21』という素晴らしい会になりました。松川支部長さん、窪田支部長さんをはじめ、みなさま方の非常にお元氣な姿にお目にかかれました。心強く、力強く思います。

日頃またいろいろご支援いただきましたまして、誠にありがとうございます。特に、昨年の産業文化展は、みなさま方の熱意、ご尽力によりまして、大成功を収めることができました。また今年は、ハイテクセンターの開設です。今は大変厳しい時代を迎えているわけですが、この時代の流れに遅れることは大変な損失ということになります。そういう気持ちでございます。運営のほうもみなさま方に自主的にお任せするという事です。ハイテクセンターが入るのは京華スクエ

ア、旧京華小学校です。この三階には早稲田大学のエクステンションセンター、社会人向け公開講座として四月にオープンするわけです。一〇〇講座で行うと聞いています。二月一日と一緒に記者会見しようという計画になっていきます。

また各施策もお陰様で順調に進展しています。例えば、人口の減少、これにもしつかり歯止めがかかって、力強く上昇しています。昨年十月の国勢調査では五年前と比べまして、人口のほうは何と八、六〇三人率にしますと一三・四九%も伸びました。この伸び率というのは、東京の自治体の中ではトップなはずで、全国で見ても四番目の伸び率ということなんです。もうまもなく、十二年ぶりに八万人台になるうと思っています。一月一日は、まだ、まだと思っております。昨日は五九人、あと四五人ということで、まさに秒読み段階になってきているわけです。本区、またお子さま方の未来がさらに明るくなってもらいたいと思っております。両支部の益々のご発展、またみなさま方のご健勝とご活躍、心からお願ひいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



株式会社

小森コーポレーション

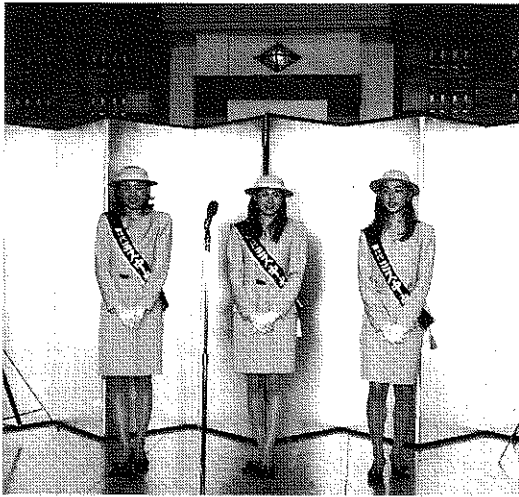
小森 善治

ただ今ご紹介いただきました小森コーポレ

ションの小森でございます。諸先輩がおいでながら、大変僥越でございますけれども、ご指名によりまして関連業界を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、日本橋支部・京橋支部のみなさま方、明けましておめでとうございます。日頃、大変我々関連業界がお世話になっております。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。大変厳しい時代の幕開けとなりましたけれども、二一世紀になると何とか、業界も、経済も、株も上向きかと思つていましたけれども、残念ながら二一世紀も横ばいというのが現状でないかと考えています。印刷というのは、前世紀二〇世紀は、大変発展しました。印刷文化の担い手といまして、大変多くの印刷業界のみなさま方がおりました。また出荷高におきましても、印刷業全体で八兆七、五〇〇億というように、大きな業界です。しかし、昨年の前世紀末ですけれども、みなさんも印刷業界の低迷あるいは、紙の値上げの問題、そして環境問題、いろいろな課題が浮上してまいりました。これは、経済が落ち込んだ中で由々しき問題でございます。なんとか我々関連業界としまして、みなさんにふんばつていただいで、設備投資をぜひしていただきたい。

日本印刷産業機械工業会のデータによりますと、十年前の平成二年と比較しましても、生産高が七五%。それから設備に対しましては四〇%という大変な落ち込みをしています。この新しい時代、ITと言われていますけれども、



ぜひともこのITを、情報技術というものを道具としていただきまして、今年こそぜひみなさまに設備のほうをよろしく願いたいと考えられています。

日本橋・京橋のみなさまの創立は大正十二年と聞いております。大変古い、また活気のある、今日もこのように帝国ホテルでやられる、素晴らしいパーティーにお招きいただいたわけですが、今年こそ情報技術というものを利用して、ともに作る競争をぜひやって頂きたい。今日は日本橋支部・京橋支部両支部が一緒になってやろうということです。ともに創る競争、ネットワークをぜひ構築していただきまして、二一世紀に相応しい年にしていただきたい。関連業界もぜひよろしく願いたいと思っております。本日は本当に素晴らしいパーティーにお招きいただきまして、ありがとうございました。

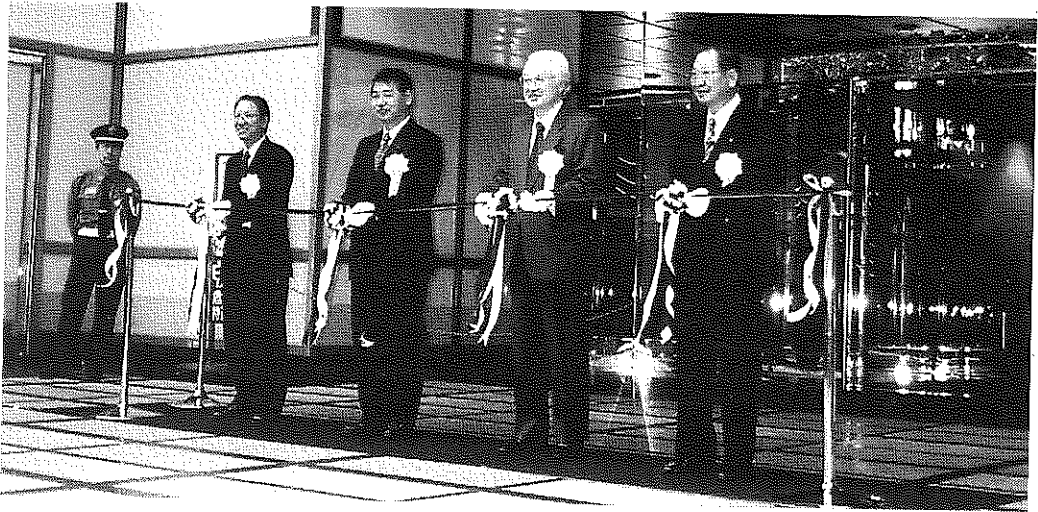
第11回中央産業文化展

「Cブランド2000」開催

日本橋プラザ 10月18〜21日

十月十八日(水)、日本橋プラザ一階広場と三階催事会場にて、第十一回中央区産業文化展が十月十八日から二十一日までの四日間、盛大に開催されました。

今回は、二〇〇〇年を記念して「へそ展」か



ら、中央区の魅力が見える！わかる！「Cブランド2000」をメインテーマに、伝統・文化を受け継ぎながら、常に未来へと前進する中央区の姿を表現いたしました。

中央区の代表的産業である印刷・製本、金属、食品、建設、情報、通信、広告、繊維、伝統工芸、異業種交流の十ブースにIT交流ブースを加え十一のコーナーを工業団体連合会など出展団体が企画し、展示や実演を通して、地域の小学生をはじめ一般の方々に地域産業の歴史や将来の展望について理解を深めていただくこと、一年おきに開催しております。

印刷・製本コーナーの展示は「昔の印刷」最新「印刷」をテーマに新旧名刺印刷機の展示と実演で紹介しました。活版印刷機として(株)文海堂で現在も稼働しているテキンを展示し、松岡貞夫取締役工場長に忙しい中実演していただきました。すべての活字の持ち込みが不可能なの

で欧文活字で名前を組み、古きよき活字文化に触れていただきました。デジタル印刷機は、(株)山桜の協力により名刺プリンターで名刺を作成し、来場者にプレゼントしました。

また、明祥印刷(株)の協力により印刷用デジタル・データを、超大型で出力するロールプリンター：デボス印刷の実演を行いました。印刷ブースのボックスステージを飾っている布地のディスプレイ(ローランド6色機)は、静電方式で紙にプリントしたあと、布地に転写したものです。

最後に残念だったのは、大きくなったらどのような仕事をしてみたいですか？という小学生アンケートの結果で、印刷業は二人、製本業は四人でした。次代を担う子供たちに魅力ある業界を今後の文化展でアピールしていきたいと思っています。



支部役員研修会

我々は、十月十三日、十四日恒例の秋の役員研修会として静岡県の富士フィルム吉田南工場の見学会を実施致しました。

十三日の朝、東京駅の新幹線ホームに集合し、列車の中ではアルコール抜きで非常に真摯な態度で静岡市に到着、貸切バスで富士フィルム吉田南工場に向かいました。

工場は、PS版の製造工場で、アルミの原板から版が出来るまでの一貫した工程を見学致しました。(写真のスタイルで)その後、研修室でビデオを使つての説明を聞き、二時間余りの見学会を無事に終え、新幹線の待つ静岡市にバスは向かいました。

そこでとんだハプニングが起きました。何と運転手が静岡駅への道を知らなかったのです。我々は、地元のバスですし、安心して臨時の部長監査地区長会等を聞き、今晚の泊まる部屋割り等を説明していました。すると、バスは幹線道路より外れ細い住宅街の方へ左折致しました。そこで運転手はおもむろにバスを止め、「静岡駅はどっちですか」と通行人に聞いたのです。車内は一瞬シーンと静まり返りその後は大騒ぎとなりK氏等は最前列に陣取り運転手に指示をはじめました。

しかしバスは無常にも出発時刻のちょうどに静岡駅に到着し、ホームに駆け足でのぼつた我々を尻目に出発して行きました……。



この事が何よりも思い出に残る研修会でした。
(副支部長 西山 昇)

地区だより

築地地区旅行記

不景気続きで気分は上々とは云えぬが、天気は上々、十月六日(金)、上越新幹線、東京駅発午前十一時二十分発の列車に乗りこむ。恒例の築地地区秋の旅行会の始りである。

さて、参加者九名の予定であるが、発車した電車の中には八名しかいない、どうしたことかと案じていると、携帯電話が鳴って、発車時間を間違えて乗りおくれたことが判った。次の電車から追いかけますと云うことになって一安心だ。やれやれとの思いで、駅で買った弁当をあける。

いつの間にか軽くところとねむってしまったらしい、何となく目を覚ましてぼんやりと車窓の外をみれば、電車は越後のくにを走っている様子だ。「もう少しで紅葉しますよ」と云わんばかりの山かげがよぎる。

午後一時十一分燕三条駅に到着、改札口には前もって予約をしておいた燕タクシーの運転手さんが「築地互友会」と書いたプラカードを高く掲げてわれわれを出迎えてくれた。

新潟県三条市郊外にある西巻印刷(株)の本社工場へは、二十分程で着いた。一階の事務所には小柳業務課長が待っていてくれて、二階の会議室へ案内され若干の説明がなされた。

今回の工場見学は、言わば同業者の工場であり、印刷関連の製紙工場、印刷機製造工場等と

は違うので、そんなに目新しいものがある訳ではない。唯、今回我々が訪れた西巻印刷さんは酒や菓子または金物類の函やラベル等の製作が主力であり、我々にとつて興味をそそるところは、印刷プラスチック加工の工程で如何に附加価値をつけているかと云う点である。

印刷業としての歴史は古く、明治四十一年に石版印刷から始まっていると云う。そして戦後紙器関係に業務が拡大して行つた。

現在では、資本金、三、五〇〇万円、ここ本社工場のほか第二工場、第三工場があり、平成に入って新しく大島工業団地に大島工場を新設、パッケージ部門が発展して今日に至っている。社員は八十名で男女の比率は半々である。本社のショールームには所狭しとその紙器製品が並べられていた。大手ビールメーカーの金箔ラベルもあつた。

本社のとなりの工場へ移ると、そこでは有名な日本酒「久保田」の一升瓶を入れる函が作られていた。印刷・合紙・型抜きされたものが全自動の機械によつて糊付けされて組立てられて行く。暫しこの工程を我々は興味深く見学させていただく。別の部屋では女性が手作業で、一つ一つ糊付けをして、玩具の画のようなものを組立てていた。厚紙を型抜きしてゆくのの特許があつて、勝手に他社の製品を真似ることは出来ないと言った。

さて次に工業団地内にある大島工場へ車で移動、約十五分位で到着、約千坪程の敷地にしよう酒な二階建工場があつた。DTP関連の作業

所では、デザインから製版まで、殆んどが若い女性の手で行われている。最後の印刷工場へ足を運ぶと、菊全二色機、四色機、五色機が広いスペースにゆつたりと据え付けられている。機種は、秋山製、ローランド、ハイデルベルグと様々だ。各々の印刷機には、男女一組のペアがついて作業をしているのも物珍しい光景だ。給紙部門に女性がついている。厚い紙を扱うので重くて大変だと思つてみていたが、件の若い女子工員は「もう馴れました」とにっこり笑つて答えてくれた。

工場見学が一通り終つて日本茶が出され、小休止となつた。窓から外を眺めれば、工場社屋の横手には、かなりの空地があり、数十台の乗用車がとめられて並んでいる。この工場へ来るのには、家用車で来るしか、他に通勤手段はないと云う。冬の時期そんなに雪は降らないそうで、唯道路が凍結するので、滑り易く、運転には気を使うとの事だつた。

気になる業績の面であるが、残業は殆んど無いが、業績としては横ばい状態であると云う。この不況の折、何とか横ばい状況で経営が維持されているとは羨ましい話である。今回見学させていただいた工程の中で、合紙加工とか抜加工と云つた部門が無かつた。聞けばその部門は大部分が外注であると言ふ。ここ三条市、燕市と云えば、スプーンやフォークと云う食器金物類の生産で有名である。そのため、紙器関係の事業所も古くから根づいているのだろうか。案内役に立つた課長さんは「古くから合紙や抜加

工するところが近くにありますので地域産業の中での共存共栄のためもありまして外注に出しているのです」と事もなげに云われた。

この工場では概ね若い人が多い、どの部門でもベテラン職人と云つた人が目につかなかつた。しかもその半数は女性である。将来に技術面の継承はどうなのかと思つたが、件の課長はそんなに心配はありませんと云つていた。近頃は段々と特色が減つて、殆んどが、DTPで作られ四色カラー印刷となつて行っている。その為か継承されるべき特別な技術も必要なくなつて来ているのかもしれない。残念乍ら社長さんにはお目にかかれずじまいだったので経営面でのもう少し細かい話を出来ずに終つてしまった。

午後四時に全ての見学は終了した。待つ事暫し、燕タクシの九人乗りのジャンボタクシが来てくれ、西巻印刷さんとは別れを告げるこゝになつた。これより今夜の宿泊地へ向けて出発だ。JRの電車で乗りついで行けば目的地の岩室温泉には行くことが可能であるが、電車の本数が少ないので、このジャンボタクシにお世話になることとなつた。勝手知つたる道のと云わんばかりに、車は細い道路をあちこちに曲りながら越後平野を日本海の方角へ走つてゆく。

三条市は、室町時代越後守護代の三条島城があり、その城下町として栄えた。江戸時代(一六〇〇年代)には奥州街道の宿場町となり中越地方の商業の中心地として発展した。そして三条金物の名で知られる金属工業は、享保年間(一

七二〇年頃）家釘を農民が造り始めたことが起源とされている。包丁等の刃物類、作業工具、測定器具等、近年ハイテクを駆使して様々な金物が生産されている。三条市のおとまりは燕市、ここでは大正初期にアメリカ、イギリス等から洋食器の見本をとり寄せ伝統の技術を生かして、食器類の生産が盛んになり、ステンレス金属が生れて、洋食器づくりの街として著しい発展をとげた。現在は、ゴルフクラブ、医療器具、自動車部品等の生産が行われ、伝統の銅器製造も盛んであると云われている。

車は三条市から燕市を抜けて越後線の線路を横切り西蒲原郡の広い平野を行く。遙か遠くに見えていた山々が目の前に来て、いよいよ、岩室温泉郷へと御到着である。

西蒲原郡、岩室村は農業が主体であるが、果樹花卉栽培も行われている。そしてここ岩室村の岩室温泉は正徳三年（一七二三年）の開湯とされる。

その昔傷ついた数羽の雁が湯あみをしたところ、傷が治り元気に羽ばたいたと云う言い伝えがあり、霊雁の湯と呼ばれたとか。ここは弥彦神社の参詣客の旅人で賑い、岩室甚句で世間に知られた。観光案内にはまさに岩室温泉郷は新潟市の奥座敷と云われるとも書かれているが、小高い山々に囲まれた静かな山村と云うだけのことである、やはり海の見える瀬波温泉の方が良かったかなあ、なんて思いながらホテルへ入る。時計の針は五時半を指していた。早速湯につかる。

露天風呂からは、格好のいい小山が見えた。地元では松茸山と呼ばれている。しかし喜んではいられない、松茸の傘に形が似ているだけで、松茸は一本も取れないと云う。

大東亜戦争の末期には信州の母の実家へ疎開していたが、美しが高原に近いその山村にも美しい山脈が幾重にも眺められた。

秋には、母と近くの山へ入り木の子取りに精を出した。青々と生繁った、緑の山々をみるとその頃の戦時中の苦しいこと、悲しいこと、楽しかったこと等が想い出される。そんな昔のことを想い出しながら、ゆっくりと湯につかった。朝、東京を出て、今日も一日暮れようとしている。東の間であるがとにかくゆっくりと湯を使っている今の気分は最高で、ありがたいことだとも思うが、この近年の自分の事業所の体たらくを考えるとはおられない。

毎年秋には、我築地村の仲間達と旅行をさせていただいている。これも、かれこれ三十年位の慣例となるだろうか。昔はともかく、最近の不況のためもあり、社員が少なくなつたこともあり、社内旅行は行われないので、この伝統ある築地互友会が唯一、旅に出るチャンスとなっている。昭和五十年代後半に組合のお仲間に入っていたいた頃は毎年二十数人の社長達が集って賑やかに旅行を楽しんだように思う。最近では十人の人に参加をお願いするのも大変な状況だ。

我国の産業界で、どの業種であっても、同業の組合がある。各々同業の仲間が助け合つて親

睦を深め、互に協力して情報を生かし、仕事を研究し事業発展の糧として行くために組合活動があると云うのが一般の通念であると思われる。立場上、東印工組の各種委員会に出席することを余儀無くさせられているが、環境問題、労働問題、技術革新、経営問題、福利厚生、共済活動と、組合として対処すべき問題は多岐に互り、山積されていることは実感するし、感服する次第である。

先代社長の父親が同業の人に誘われ昭和四十年代に組合に入れていただいた。その息子は組合に入って何のメリットがあるのかと責めたことが何度かあった。ただの酒ならいくらでも飲む我オヤジ殿、たまに集って飲みあかしているだけが組合なのかとも思っていた。

オイルショックの不況の頃、近所の組合員の先輩社長が、同業の仲間のところを共に廻つて仕事の斡旋をしてくれたことがあった。技術的な問題もあって、良い結果には至らなかったが、仲間意識から同情的に一緒に仕事を探してくれたその人情味、親切心には感謝した。今はその大先輩もこの世を去っているが、その人の熱誠に恩返しをするつもりで、ここ十年は組合に参加させていただいている。

しかしである、それにしてもこの不景気は何だ!! 月々年々、業績は悪化の一途をたどるばかりだ。早朝から仕事の段取り、営業に出て、紙の手配、製版、印刷時は現場に立ち合つて刷色確認、製本所へ廻し納品、請求書も自分で書き集金し、資金繰り、給料支払、その間、色々

な世間様とのしがらみでのお付き合いあり雑用雑多の毎日で、かなり多忙の中で動いていても一向に利益は上がらない、組合費の納入ももつたに恥しいことである。果して経営能力不足か、研究心が不足なのか、真剣さが足りぬのか、はた又運が悪いのか？ 或る組合員であった社長が亡くなられその息子さんが後をつがれても、組合から遠ざかる人が築地村でも何社かある。「毎日忙しくて、組合どころではありませんよ、春原さんも本当に人が好いですね！」御苦労様です、……でもうちはご勘弁下さい」こんな答が返って来る。人が好いと云えばその通りだ。我京橋支部の役員さん全員が皆いい人達ばかりだ。そして、この人の好い人達のボランティア精神に支えられて支部は成り立っているのかも知れない。こんな情ないようなことを考えながら湯を出た。組合員の半数は少人数で働く零細企業であり、組合に加入はしているが仲々組合活動の波にのれない人々がいることは確かである。そんな小規模経営者の人達が本当に組合に加入していて良かったと思う様な東印工組にならなければ発展は難しいのではないかと思ったりもした。そろそろ夕宴の時間だ。

年々参加者が減っている為か、我築地村の宴会は誠に静かなものである。こんな時こそ大いに飲んで盛り上げてこそ鋭気がやしなえろと云うものだと思う人もいるだろう。芸者もコンパニオンもカラオケも無し、それでもここ新潟の味を楽しみながら肅々と宴は進んだ。和気藹々、



談笑しながらの会食となった。昨年の旅では、料理が品数も多く、食べきれなくて参ったので、今度は量より質でおねがいしたいとホテルの方に云ってあったせいか、確かに量的には少な目の感じだ。若手のメンバーの一人が、膳を運んで来る若い姉さんに、このホテルの近所に美味しいラーメン屋さんはあるかと聞いていた。申し訳無しと反省した。酒の量も至って少ない、昔の築地村の面々の中には、無類の酒豪が何人もおられた。日本酒のお銚子が数十本と云う事が何回もあったと聞く。そして芸者をあげて、破茶目茶の大騒ぎをした——今は正に隔世の感がある。静かな宴は夜八時前に終わった。食後又湯につかり、本当にゆっくりと身体を休めながら、就寝することが出来た。

明けて次の日も天気は上々だ。昨日と同様ジャンボタクシーに乗りこんで附近の観光である。

ホテルを後にして数分で宝山酒蔵と云う酒倉に着いた。ホテル側の配慮で見学の予約がしてあると云うことで一寸立寄ることとした。見目うるわしき姉さん、この家の御新造さんが酒蔵の案内役で、やや美人で、かなりの厚化粧、そして良く口がまわること、手慣れた口上で酒造りの説明が終ると最後に、利酒とでも云うのか、数種の吟醸酒を出して来て、盛んに試飲を勧め、誠に堂に入ったものだ。口跡の功あつてか、何人かのメンバーが日本酒を買いこんだ。

車は弥彦山の方へ向う。海岸線に越後七浦道路(シーサイドライン)があるが弥彦山スカイ

ラインを行くことにした。二十分程で弥彦山山頂に着いた。ここは佐渡弥彦米山国定公園と云うんだそうだ。車を降りてしみじみと日本海を眺める、目の前に佐渡ヶ島が大きく見える。地図でしか見えないので初めて見てかなりの大きな島だと感じた。

かなり霞がかかっていて定かではないが左の方が有名な小木の港かいなと思いつながら目を瞬たいた。昨夜は残念乍らカラオケで歌えなかつたので、思わず細川たかしの「佐渡の恋歌」を口ずさんでみた。誠にいい気分である。そこでパノラマタワーなるものに乗ってみようと思ふことになり六〇〇円の搭乗券を買う。海拔六〇〇メートル三六〇度回転昇降展望塔である。

紺碧の日本海はどこまでも青く美しい、眼下に西蒲原の大平野あり、左に新潟市をのぞむ、遠くに青紫の山々が霞んでみえる。

次に車はスカイラインを走りぬけ寺泊へ向う。三島郡寺泊町の海風亭日本海と云う店で昼食をゆつくりととった。

午後からは新幹線の燕三条駅の方角へ車を向ける。大河津分水路を渡って分水町国上へ出た。山路を少し登って、国上寺に寄った。ここは聖僧と云われた良寛ゆかりの五合庵があるので有名だとか。車を降りて散策と云うところであるが、山の中の寺で、歩く道は坂道ばかり、これは疲れると云うことで国上寺の本堂まで歩くのがやっとで、有名な五合庵へは立寄れず車中の人となった。良寛和尚については、何度となく小学生の頃話を聞かされた。ビジターサービス

センターのパンフには、「人々に慕われ、自然の中に生きた一人禅僧。歌人であり書家であった『人間良寛』の心におかれて下さい」と書いてあった。

ここまで来たのだから弥彦神社にも立寄ることにした。

弥彦神社を後にして車は国道二八九号線を行く。午後三時に無事振出し地点、燕三条駅へ着いた。新幹線の東京駅行三時四十分、少し時間があるので駅のロビーの小さな食堂でコーヒを飲んで休んだ。いよいよ旅も終焉だ。

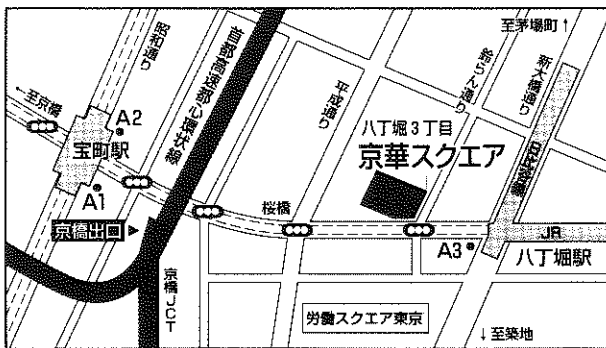
終点東京駅には午後六時に到着、ここで御一行様はめでたく解散である。

(記 春原)



京橋支部室は 左記へ移りました

〒一〇四—〇〇三二
中央区八丁堀3—17—9
京華スクエア2F
※電話・FAXは変わりません



交通機関のご案内

- 営団地下鉄日比谷線/JR京葉線「八丁堀駅」A3出口より徒歩1分
 - 都営地下鉄浅草線「宝町駅」A1・A2出口より徒歩5分
- ※ 駐車場はありませんので車での来場はご遠慮下さい。

21世紀に京橋支部ホームページが変わります！

京橋支部のホームページがIT時代にふさわしい新しい機能を追加し、より一層組合員にとって役に立つホームページとなりました。IDおよびパスワードを入力することにより閲覧できる支部メンバー専用サイトを設け、より高度な情報を配信出来る様にしました。これからも順次改良を重ねインターネットのメリットを生かした組合支部の情報発信の基盤としていきたいと考えております。

京橋支部のホームページの新しい特徴

1. 京橋支部イエローページ

昨年支部の皆様アンケートにご協力いただいたデータを元に京橋支部企業のデータベースを会員専用サイトに掲載しました。

2. データベース検索

各企業の専門分野をキーワードとして検索でき自社で処理できないような仕事を受注した場合、組合員の中で専門としている企業を探し出し相談したり仕事を依頼したりする時に役立ちます。

3. 京橋支部電子会議室（掲示板）

新しくホームページの中に電子掲示板機能を搭載し組合員同士の情報交換の場が出来ました。例えばこんな仕事の引き合いがあるが、どこかやってくれそうな外注先を探している事を掲示板に書き込むと、それに対しての情報が他の組合員から応答がもらえたりします。そのほか支部からの伝達事項の掲載や楽しい貴重な情報が組合員より寄せられると思います。

是非一度京橋支部のホームページにアクセスしてみてください。

<http://www.kyobashi-shibu.org>

支部メンバー専用サイトへは既にお知らせしておりますIDおよびパスワードを入力してください。

© 東京都印刷工業組合 京橋支部

京橋支部会員検索

Tokyo Printing Industry Association's The Kyobashi Branch

条件（会社名あるいは業種内容）を入力し、検索ボタンをクリックしてください。
全会員を表示する場合は、会社名を入力せずに検索ボタンをクリックしてください。

会社名 ※会社名の一部入力可

業種内容

Homeへ戻る

検索画面

© 東京都印刷工業組合 京橋支部

京橋支部会員検索

Tokyo Printing Industry Association's The Kyobashi Branch

条件（会社名あるいは業種内容）を入力し、検索ボタンをクリックしてください。
全会員を表示する場合は、会社名を入力せずに検索ボタンをクリックしてください。

会社名 ※会社名の一部入力可

業種内容

◆検索結果◆ 業種内容="大サイズ印刷"

- 株式会社久葉社
- 株式会社金剛社印刷所
- 能谷印刷株式会社
- ミズノブリテック株式会社
- 明美印刷株式会社

Homeへ戻る

検索結果画面

東京都印刷工業組合 京橋支部

会員詳細情報

Tokyo Printing Industry Association's Kyo-Hashi Branch

社名	株式会社久栄社		
〒	104-0033		
住所	中央区新町11-28-44		
電話	3552-7571	FAX	3552-9325
業務内容	目オフ：サイズ（ハガキ A3）、厚紙巻		
	一翼オフ：サイズ（K2 C1）、4 5色巻		
	大サイズ：サイズ（B0）、ジェットプリント		
	シルク等：我名印字可、可変ラベル中心		
	シルク印：サイズ（K2 C0）		
	製本加工：中とじ（乳丁防止装置付5種）、折り		
	電子印刷：サイズ（ハガキ A3）、可変印刷可能、カラー専門		
ホームページ	http://www.kyueisha.co.jp/		
メールアドレス	info@kyueisha.co.jp		
一言アピール	工場にISO9002を取得し、四六全色巻を中心とした高品質巻印刷、広範囲デジタル入出力にも強く、データベース、PDFの印刷・出力、WindowsDTP、ホームページ制作、CD-ROMプレス、オーサリング、デジタル可変印刷などを積極的に展開中。		

Homeへ戻る

会員詳細情報画面

東京都印刷工業組合 京橋支部

京橋支部電子会議室

お名前	株式会社久栄社
e-mail	info@kyueisha.co.jp
URL	http://www.kyueisha.co.jp
題名	テストです

本文

電子会議室での発言の表示についてのテストです

削除キー

Homeへ戻る

Home ヘルプ リスト

Powered & Supported by Crawfish 1999-2000.
Produced by sn'L system & E-train.

電子会議室画面

支部の動き

10月4日(水)京橋・日本橋・千代田3支部合同研

修会Ⅱ「2005計画に学ぶ」の開催(18時30分〜20時)於・千代田印刷会館2階

。講師 (株)日本印刷技術協会

常務理事 山内亮一氏

。会費 千円

10月5日(木)中央区産業文化展実施要項記者発表会(10時〜)於・支部会議室

10月5日(木)本部支部長会(15時〜)

於・本部会議室 松川支部長出席

10月13日(金)部長・監査・地区長会(17時30分〜18時30分)於・箱根・塔の沢「紫雲荘」

。本部支部長会報告事項

。各種委員会報告事項

。「合同新年会」(平成13年1月19日(金)於・帝国ホテル)の開催について

。支部ホームページ・アンケート回収と今後について

。中央区産業文化展会場派遣について

10月13日(金)〜14日(土)支部役員研修会(工場見学会)の開催・富士写真フィルム吉田南工場(会費1万5千円)

11月2日(木)本部支部長会(15時〜)

於・本部会議室 松川支部長出席

11月13日(火)部長会(12時〜)於・支部会議室

。事務局移転について

11月16日(木)部長・監査・地区長会(12時〜13時30分)於・支部会議室

。支部長会報告事項

。合同新年会について

11月16日(木)支部幹事会開催(18時〜20時)於・ホテルモントレ銀座「ラ・スールギンザ

「サンミケール」、会費五千円

11月21日(月)4支部(京橋・日本橋・千代田・文京)合同研修会Ⅱ「中小印刷業のサブイバ

ル戦略」(機村展に見る印刷業の行方)(18時30分〜20時30分)於・(株)千代田マシナ

リー9階ホール

。講師 日本プリンティングアカデミー

。会費 千円

12月5日(火)顧問・相談役・参与の会開催(17時30分〜)於・海恵

。支部室の移転について

。合同新年会の開催について

。今後の支部事業について

12月7日(木)本部支部長会(15時〜)

於・本部会議室 松川支部長出席

12月14日(木)部長・監査・地区長会(12時〜14時)於・支部会議室

。合同新年会の準備について

。支部長会報告事項

。各種委員会報告事項

。ハイテクセンターへの移転について(平成13年)

1月12日(金)本部「新春のつどい」開催(17時30分〜)於・ホテルオークラ「平安」

1月16日(火)中央区工団連「新年初顔合わせ会」開催(18時〜)於・中央会館6階「高砂」

1月18日(木)中央区施設「京華スクエア」見学会(10時〜16時)「ハイテクセンター」、「京華

コミュニテイルーム」、「リサイクル施設」

「早稲田大学エクステンションセンター」八

丁堀校」が新設。「防災活動資器材庫」。「防

災備蓄倉庫」。「町会会議室」。「町会倉庫」

等が改装された。

1月19日(金)京橋・日本橋支部「合同新年会」の

開催(18時〜20時)於・帝国ホテル「孔雀

西の間」

。開会(18時)

司会 京橋支部 副支部長 松岡誠一郎

日本橋支部 副支部長 小粥恭之

開会の言葉

京橋支部 副支部長 宇野一男

年頭のご挨拶

京橋支部 支部長 松川昭義

日本橋支部 支部長 窪田秀亮

。来賓紹介(18時20分)

来賓祝辞

中央区区長

東京都議会議員

中央区議会議長

矢田美英様

立石晴康様

高橋伸治様

小薬忠昭様

中央区工団連会会長

関連業界出席者紹介

関連業界代表祝辞

(株)小森コーポレーション代表取締役社長

小森善治様

。祝賀会 開宴(18時40分)

祝杯

東京印刷工業厚生年金基金 理事長

田島一彌様

。福引(19時15分)

。両支部青年会

。中締め

日本橋支部 副支部長 齋木政宏

来賓出席者御芳名

矢田 美英様 中央区区長

立石 晴康様 東京都議会議員

高橋 伸治様 中央区議会議長

坂戸 三郎様 中央区議会区民福祉保健委員会委員長

茂木三千彦様 中央区助役

森中 勅一様 中央区区民部部长

齋藤 裕文様 中央区区民部商工課課長

小薬 忠昭様 中央区工業団体連合会会長

田島 一彌様 東京印刷工業厚生年金基金理事長

長山 浩様 中央厚生事業協同組合理事長

丸山 啓一様 東京都製本工業組合日本橋支部支部長

油矢 博様 東京都製本工業組合京橋支部支部長

福引景品目録

一 等 2本 生タラバガニ

二 等 6本 生毛がに(2尾入)

三 等 15本 北海道の(生一夜干し詰合せ)

四 等 10本 北のひいき(粒うに・磯あわび等々12種詰合せ)

五 等 10本 タラコ詰合せ

六 等 20本 ツムラの日本の名湯(入浴剤)

七 等 20本 目覚まし時計10、電卓10

八 等 30本 紳士ソックス(レナウン)

九 等 30本 札幌ラーメン

残念賞 100本 (協賛品)フィルムカメラ

コニカ50個・フジ 50個

40本 SFメトロカード(干支)

1月26日(金)東京都製本工業組合京橋支部、平成

13年新春研修会開催(18時)於・ロイヤル

パークホテル 松川支部長出席

1月30日(火)中央厚生事業協同組合「新年懇親会」

開催(18時)於・割烹あわや 松川支部

長出席

支部員の異動

・加入組合員

。湊地区、(有)石川美術印刷

石川謙三殿

12月

・社名変更

。入船地区、長崎印刷(株)は、

(株)ナプコジェーピーとなりました。

尚、電話、FAXは従来通り

お悔やみ申し上げます

▼八丁堀地区

(有)大橋印刷所会長、

大橋国男殿御逝去(12月)

お詫び

前号弔事記事中心▼築地地区、(株)渡辺印刷所社長渡辺 功殿御逝去は渡辺 巧殿の誤りでした。慎んでお詫び申し上げます。

編集後記

新世紀にふさわしい京橋・日本橋合同の新年会が帝国ホテルに於て無事行われ両支部実行委員の方々ご苦労さまでした。

又二月中には支部事務所がハイテクセンターへ引越と多忙の中、横田書記の応援として一〇七号は春原・増田・坂本・小澤で編集致しました。

支部員の皆様方には、ご多用のところ恐縮ですが、おちかくにおこしの節には新事務所へお立寄り下さい。(小澤)